

いつでも どこでも だれとでも みんなで 「スポーツチャンバラ」



「スポチャン」の愛称で親しまれている「スポーツチャンバラ」は、1971年(昭和46年)に現国際スポーツチャンバラ協会田邊哲人会長によって考案されたスポーツです。それから門人を育成して2年後、「全日本護身道連盟」を発足、その後も発展を続け「国際スポーツチャンバラ協会」が1970年代後半に結成されました。

現在では愛好者36万人を数え、インストラクター等の公認指導員も5000人を超えています。(平成23年現在)

競技大会は、協会のビッグイベントである全日本選手権大会及び世界選手権大会をはじめ、全国少年少女選手権大会、全国大学選手権大会及び各地域大会などを毎年開催しています。

海外においても年を追って理解者が増え、アメリカ・フランス・オーストラリア・イタリア・ロシア・ウクライナ・ラトビア・セルビア・エジプト・韓国・台湾・シンガポール大会が開催されるなど普及活動が順調に進んでいます。日本の武道の押しつけでなく、その国独自の剣術を活かし、言葉のいらぬコミュニケーション方法として広まっています。

これらの活動により平成18年10月10日に文部科学省より日本スポーツチャンバラ協会が社団法人として認定され、平成23年2月22日には菅直人内閣総理大臣より公益社団法人として認可を受けました。さらに平成24年6月6日に日本体育協会への加盟が承認されました。

1 スポーツチャンバラとは

幼い頃、神社の境内や野山を駆け回って「チャンバラごっこ」に興じた思い出は、男の子ならだれでもあるはずです。そのチャンバラ遊びの要素を取り入れ、護身術の訓練をヒントに体育館で行う現代的なスポーツにしたのが「スポーツチャンバラ」です。

2 生涯スポーツ・教育面への効果

老若男女、体力や運動能力の差異を問わず楽しめる「生涯スポーツ」として注目され、幼稚園・小・中・高等学校の教育や警備会社等の社員教育に取り入れられ、体力はもちろんのこと精神面の強さも鍛えることができ、その実践効果は広く認められています。

また、スポーツチャンバラは、武士道精神、フェアプレーを尊重し、さわやかな人間形成の場となっています。

更に、上級者になると「競技スポーツ」として、また「護身術」として奥の深さを知ることができます。

3 用具（得物）

防具は、目や耳、鼻を守るプラスチック製の「面」のみ。得物（剣）は、空気で膨らませた「エアソフト剣」を持って戦う競技です。剣が体に当たっても中が空気だから安全です。

得物は、いちばん短い40cm以下の「短刀」、60cm以下の「小太刀」、100cm以下の「長剣」、210cm以下の「槍」「薙刀」「棒」、その他「楯」などがあります。

4 ルール

ルールもシンプルで、先に剣で相手の体を打った方が勝ちとなります。刃物、こん棒に見立てているため、防具の部分だけでなく体のどの部分に当たっても1本となります。「面」「小手」「胴」だけでなく「足」も有効的な技です。

以下、主なルールを紹介します。

- (1) 護身道の精神から、試合では「相打ち」は、両者死傷したものとみなし、両者とも負けという規則があります。
- (2) コートは、6～9m長方形の試合コートで行いますが、両足がコートに出たときは、場外反則になりますが、場外反則2度で1本となります。
- (3) 試合中、選手が転倒しても中止しません。
- (4) 試合中に、得物（剣）を落としても中止しません。
- (5) 得物を持っていない手で受けることを「かばい手」といい、一度のみ許

- されます。二度目は使えないため、使った場合は1本とされます。
- (6) 試合は、主に1分1本勝負（又は、3分3本勝負）です。
- (7) 安全管理のため、大会ではエアソフト剣のみ使用します。

5 種目

基本動作

小太刀

長剣フリー、長剣両手

二刀（長剣と小太刀）

楯小太刀、楯長剣

槍（短槍・長槍）

棒、丈

短刀 ほか

※個人戦のほか団体戦や違う得物を持って戦う異種試合、多人数同士の合戦、自分以外が敵となるサバイバル戦などがあります。



トキめき新潟国体 基本動作競技風景

6 新潟県のスポーツチャンバラ

平成元年、新潟県で最初の愛好者グループが栃尾市に誕生しました。現在では、見附市、新潟市（旧新津市含む）、長岡市、十日町市、上越市、新発田市、五泉市、小千谷市、三条市に道場が拡大され、連日、練習に励んでいます。

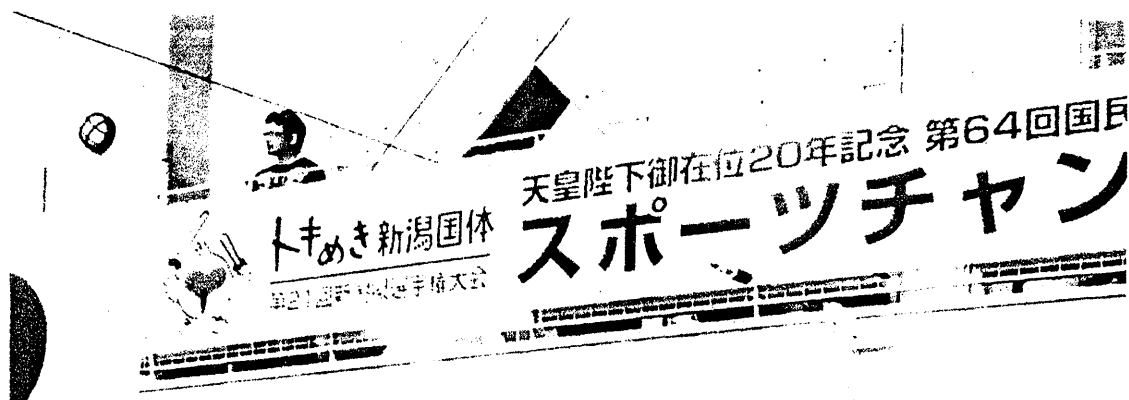
新潟県スポーツチャンバラ協会は、平成4年に新潟県体育協会に加盟、平成

9年に新潟県レクリエーション協会に加盟し、青少年の健全育成や生涯スポーツの普及に貢献しながら現在に至っています。

競技力については、新潟県のスポーツチャンバラは、全国的にみてもレベルが高い方で、一般だけでなく、子供及び女子も毎年、上位入賞を果たしています。

競技大会も毎年さかんに開催されており、世界大会、全国大会、北陸大会、県大会、下越・中越・上越大会、市内大会などがあります。

平成21年に地元新潟県（長岡市南部体育館）で開催された「第64回国民体育大会」にデモンストレーション競技として233人の選手が参加し、成功裏に終了することができました。



平成21年9月27日（日） トキめき新潟国体 長岡市南部体育館

道場に行くと、親子でスポーツチャンバラを楽しんでいる家族が多くみられます。スポーツチャンバラは、運動不足の解消、健康維持、ストレス発散にも役立つ手軽なスポーツです。さあ、あなたもスポーツチャンバラを始めてみませんか。

